

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

住友生命保険相互会社（証券コード：－）

【据置】

長期発行体格付	A A
格付の見通し	安定的
保険金支払能力格付	A A
格付の見通し	安定的

■格付事由

- (1) 国内の大手生命保険グループの一角を占める住友生命グループの中核会社。メディケア生命保険、米国のシメトラ、シンガポールのシングライフなどを擁し、海外事業を含めた地域の分散と収益源の多様化を進めている。発行体格付は、グループ信用力と同等としている。グループ信用力は、国内における堅固な事業基盤、保有契約の厚みなどを背景とした安定的な収益力、リスク対比でみた資本充実度などを評価し「AA」相当とみている。独自性のある商品・サービス展開や代理店チャネルにおける存在感の発揮などで事業基盤を強化し契約業績を確保している。グループの契約業績は堅調に推移しており、新契約価値が着実に積み上がっている。金利リスク等のリスクは適切にコントロールされており、経済価値ベースでみた指標の感応度は抑えられている。
- (2) グループの市場地位・競争力は高い。独自性のある商品投入など機動的な事業展開が特徴で、差別化された健康増進型商品の展開に加え、他生保からの商品供給も活用し商品ラインナップを拡充させている。「マルチチャネル・マルチプロダクト戦略」のもと、販売チャネルの複線化・専門化が定着している。営業職員チャネルでは、厳選採用の継続、育成体制の見直し、デジタルを活用した営業活動の高度化などもあり、生産性や効率性が高まっている。メディケア生命は、金融機関や乗合代理店への価格競争力のある商品提供により若年層や資産形成層などの顧客基盤を拡大している。商品改定の効果もあり契約業績は堅調である。海外事業については業容拡大によってグループへの利益貢献度が高まっている一方、事業拡大に応じたリスク管理とガバナンス態勢の整備が重要であり、PMI の進捗などにつき中期的な視点でフォローしていく。
- (3) グループの収益力は比較的高い。契約業績は貯蓄性商品の販売動向などによって変動がみられるが、堅調に推移している。シメトラにおける堅調な契約業績、シングライフの連結寄与などもあり新契約年換算保険料はこの数年増加している。基礎利益は比較的厚い危険差益の確保などで安定しており、利差益の拡大などで利益水準が高まっている。顧客ニーズに応じて貯蓄性商品を販売する一方、第三分野商品を含め、保障性商品への注力などで保有契約の商品ミックスが徐々に変化している。EEV は新契約価値の積み上げなどで拡大しており、「営業活動の成果に伴う EEV の増加額」を安定的に伸ばしていけるか注目していく。
- (4) グループの資本充実度は AA レンジ相応とみている。ESR は相当程度のストレスがかかる状況においても健全性を維持できる水準にある。株式等の価格変動リスクは比較的小さい。また、デュレーションギャップの縮小による金利リスクの削減を進めてきたこともあり、ESR の感応度は抑制されている。海外事業が拡大しているため、グローバルかつグループ一体的な ERM 態勢の重要性が高まっている。

（担当）宮尾 知浩・松澤 弘太

■格付対象

発行体：住友生命保険相互会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA	安定的
保険金支払能力	AA	安定的

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2026年1月21日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：宮尾 知浩
主任格付アナリスト：宮尾 知浩
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2024年10月1日）、「生命保険」（2024年2月8日）として掲載している。
5. 格付関係者：
（発行体・債務者等） 住友生命保険相互会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル